

自主防災組織の育成（結成）等について

～防災は日頃の備えと助け合い～



自助・**共助**・公助

現在、自主防災組織活動マニュアルを作成中です。

マニュアル作成の趣旨

大規模な災害が発生した際、自分や家族の生命・財産を守るためには、「日頃から様々な災害に備えて対策を講じておく」必要があります。

災害の被害拡大を防ぐためには、個人や家族の力だけでは限界があります。そこで、近所の人たちが集まって、「互いに協力し助け合い」ながら、防災活動に取り組むことが大切です。

阪神・淡路大震災のときには、近所の多くの人が協力し合って救出活動を行い、多くの生命を救った事例や、初期消火を行うことで延焼を防止した事例が数多く報告されています。

そうした活動の中心となるのが自主防災組織です。しかしながら、自主防災活動への取組状況は地域ごとに格差があり、また、活動がマンネリ化している、参加者がいつも同じ顔ぶれである、役員が交替したとたんに活動が止まってしまったなど、様々な課題を抱えているのが事実です。

『自主防災組織活動マニュアル』は、自主防災組織及び地域の防災リーダー（防災士等）の必要性や役割をはじめ、平常時から自主防災組織が取り組むべき活動イメージや、災害発生時の基本的な活動内容を分かりやすく記載するものです。

自主防災組織において、それぞれの地域の特性に応じた活動マニュアル等を作成するための基礎となる手引書として、地域のみなさんがお互いに協力して防災活動を行う組織づくりに活用いただければ幸いです。

4 自主防災組織活動マニュアルの構成

- 1 自主防災組織とは
- 2 自主防災組織の役割
- 3 自主防災組織の結成
- 4 自主防災組織の運営
- 5 平常時の活動
 - ① 年間スケジュール・活動計画を作ろう
 - ② 地域の災害リスクを知ろう（まち歩き）
 - ③ 防災の正しい知識を持とう（防災士資格取得費用の助成）
 - ④ 防災資機材と備蓄品の準備・確認・点検
 - ⑤ 防災訓練で災害への対応力を身につけよう

平常時

アンケートの集計結果を取り入れて、本マニュアルに反映したのちに市ホームページに掲載します。
本マニュアルは30ページほどに要点をまとめています。

参考資料

- ☐ まち歩きチェックシートの一例
- ☐ 災害情報の収集と伝達要領（例）
- ☐ 応急救護の基礎知識
- ☐ マイタイムラインの作成（風水害への備え）
- ☐ 自主防災活動チェックシートの一例

- 6 各種防災訓練
 - ① 避難時の訓練
 - I 避難（誘導）訓練
 - II 安否確認訓練
 - III 災害情報収集、伝達訓練
 - ② 救助救護の訓練
 - I A E D訓練
 - II 応急救護訓練
 - III 初期消火訓練
 - IV 救出救助訓練
 - ③ 避難後の訓練
 - I 避難所準備・運営訓練
 - II 炊き出し訓練

訓練

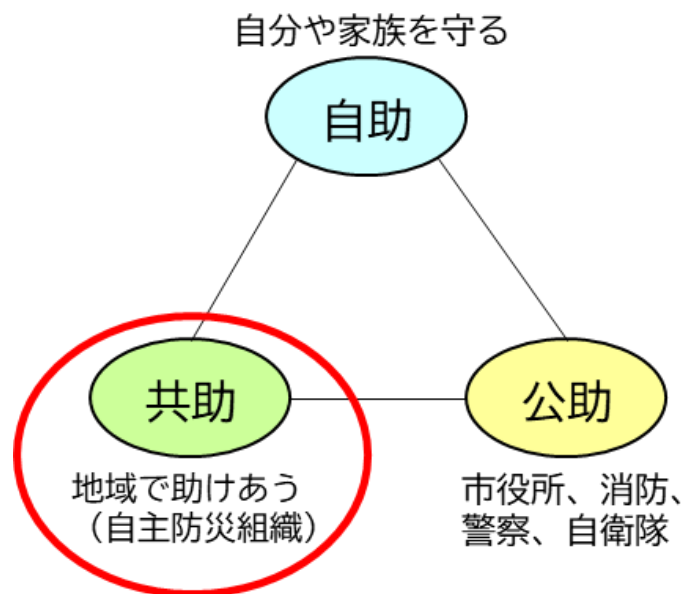
- 7 災害時の活動
 - ① 地震・風水害の対応
 - ② 災害情報の収集と伝達
 - ③ 避難誘導
 - ④ 安否確認
 - ⑤ 被害状況の確認
 - ⑥ 救出救助活動
 - ⑦ 初期消火・応急活動
 - ⑧ 避難所での活動

災害時

1 自主防災組織とは

自主防災組織とは、地域住民が「**自分たちの地域は自分たちで守る**」という意識で協力し、災害時の被害を最小限に抑えるための活動を行う組織のことです。自治会等を母体に結成され、平常時から防災意識の向上や訓練等を実施し、災害時には初期消火、救出救護、避難誘導等の活動を行います。

大規模災害では、行政の救助や支援が届くまでに時間がかかります。だからこそ、地域の特性をよく理解している自主防災組織の活動が重要になります。



<自主防災組織があるメリット>

- ① 避難訓練等を実施することで、迅速・確実・安全な避難を行うことができます。
- ② 市から避難行動要支援者名簿を受領することで、平常時の見守りから災害時の安否確認や避難の支援を行うことができます。
- ③ 避難所開設時に、避難所の運営や情報共有を円滑に行うことができます。

2 自主防災組織の役割

自主防災組織は、大規模な災害が発生した場合、地域住民が的確に行動し被害を最小限に止めるため、日頃から地域内の安全点検や住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施など、災害に対する備えを行います。

また、実際に災害が発生した際には、初期消火活動、被災者の救出・救助、情報の収集や避難所の運営といった活動を行うなど、非常に重要な役割を担っています。

自主防災組織の活動	平常時の活動	地域特性の理解	まち歩きによる地区の危険箇所の把握、避難所や避難経路の確認、防災マップの作成
		防災資機材等の整備	防災資機材や備蓄品の管理、消火器の点検
		防災知識の啓発	地域の防災マニュアルや情報誌の発行、防災イベントや研修の開催など
		防災訓練の実施	初期消火訓練、避難訓練、安否確認訓練、応急救護訓練など
		避難行動要支援者の支援体制の構築	地域に暮らす避難行動要支援者（※自力で避難が困難な人、障がいをお持ちの人など）に対して、避難時の支援を行う体制の構築
	災害時の活動	情報伝達活動	地域内の被害状況の把握、テレビやラジオなどからの情報収集、災害に関する正しい情報を住民へ伝達
		避難誘導活動	地域住民の安否確認、避難所など安全な場所への避難誘導、避難行動要支援者の避難支援など
		初期消火活動	消火器・スタンドパイプなどによる初期消火活動
		救出救助・救護活動	倒壊した家屋などの下敷きになった人の救出、負傷者への応急的な手当、救護所への搬送など
		避難所運営活動	避難所の開設・運営、救援物資の配給、食糧の炊き出し、給水、避難行動要支援者への生活支援など

3 自主防災組織の結成

自主防災組織の結成には、まず何よりも住民の方々の理解と協力が不可欠です。自治会や管理組合等で自主防災組織の結成について話し合い、結成の手続きを行ってください。

【逗子市公式サイト】（逗子市ホームページ）
暮らし手続き→「自主防災組織をつくるには」ページ番号1001555ならびに
「自主防災組織結成の手引き」をご覧ください。
防災訓練や資機材等整備費用として補助金を交付します。ページ番号
1001557「逗子市自主防災組織強化事業費補助金」を参照してください。

